

2) グランドデザインの基本方針案

第 1 回検討協議会意見と意見用紙まとめ**意見①（協議会から）**

地域間連携については最終的にそうなるのであると思うが、それ自体が基本方針ではないのではないか。市街地の賑わい創出を検討する中で、周辺とのバランスなどは配慮して進めていくが、結果的に地域間連携に寄与するものであると考える。

意見②（協議会から）

事務局の説明では観光立市を前面に出しているように取れたが、市民に向けた賑わいについても検討するべき。

意見③（協議会から）

観光は非常に大事である事は間違いないが、まち・ひと・しごとの部分で説明があったことと対立させずバランスを取りながら基本方針を作り上げていくことが大事である。

意見④（意見用紙から）

基本方針が示されているが、理念ばかりで方向性が伝わってこない。イメージ可能な理念を示すべき。「芭蕉生誕地」は他にない利点であり、文化都市の確立を目指すことで周辺部にも理解を得やすいと考える。市街地の活性化が、旧市街地のみのもので受け取られかねない中、地域の特性を活かし、方向を同じくしつつも分散型の賑わい創出を目指していくべき。

意見⑤（意見用紙から）

観光客は経済効果があり、賑わいには欠かせないものであるが、日常的に住む人が郊外に出て行かず歩いていける場所、買物を楽しめる場所を並行して検討をすべき。

意見⑥（意見用紙から）

地域間連携には市内周辺地域だけでなく、隣接する市町村も含めて検討するべき。